

**第10回 風土記の丘の美術展**  
郡山市内の小学生による作品展  
7月18日(月・祝)～8月21日(日)

入場無料

主催/郡山市立美術館、郡山市小学校造形教育研究会  
場所/展示ロビー  
時間/9:30～17:00  
休館日/毎週月曜日 7月18日(月・祝)は開館、翌日休館

郡山市内の小学生の作品に加え、今回の震災により郡山に来て学習している小学生の作品も併せて展示します。子どもたちの個性豊かな作品の数々をどうぞご覧ください。(市内を5つの地域に分けて週替わりで展示します。)

- 第1期 7月18日(月・祝)～7月24日(日) ※7月19日(火)は休館日です。  
柴宮、穂積、三和、多田野、多田野堀口分校、河内、開成、薫、大槻、大成、朝日が丘、ザペリオ学園、川内
- 第2期 7月26日(火)～7月31日(日)  
金透、芳山、芳賀、桃見台、赤木、白岩、東芳、大島、緑ヶ丘第一、宮城、海老根、御館、御館下枝分校
- 第3期 8月2日(火)～8月7日(日)  
片平、喜久田、熱海、熱海石筵分校、安子島、上伊豆島、湖南、富田西、桑野、小山田
- 第4期 8月9日(火)～8月14日(日)  
安積第一、安積第二、安積第三、永盛、守山、御代田、高瀬、谷田川、田母神、栃山神、橘、小原田、桜
- 第5期 8月16日(火)～8月21日(日)  
日和田、高倉、行健、行健第二、明健、小泉、行徳、富田、富田東、高野、鬼生田、三町目、大田、根木屋



**【夏休み公開ワークショップ】**

**風土記の丘発  
図工&美術の時間へようこそ! パートVI  
「つくろう! あそぼう! 夏まつり☆」  
8月6日(土)**

参加無料

午前の部 11:00～12:00 午後の部 14:00～15:00

講師/郡山市内の小中学校の先生  
場所/多目的スタジオなど  
各「屋台」とも先着15名程度 予約はいりません

小学校、中学校で行われている図工と美術の授業を体験していただくワークショップです。六回目を迎える今年は、夏まつりをテーマにいろいろな「屋台」ブースが登場します。紙粘土でカラフルなお菓子や料理を作ったり、木のオブジェづくりに挑戦したり、ゲームであそんだり…。夏まつりの気分を味わいながら、夢中になれる物づくりのひとときをおたのしみください。大人のみなさん、大歓迎です!

**常設展示室**

**ふるさとへの想い—収蔵品名作選**

- 展示室1 イギリス近代美術
- 展示室2 日本近代美術
- 展示室3 戦後の美術
- 展示室4 本(版)の美術/ガラス工芸



【交通案内】  
バス/JR郡山駅5番のりば「東郡山循環線・美術館先回り」行き  
「郡山美術館」下車すぐ  
乗用車/東北道「郡山南I.C.」/磐越道「郡山東I.C.」より15分  
駐車場/130台  
開館期間中は大変混雑が予想されますので、最寄りの公共交通機関をご利用ください。

**郡山市立美術館**  
Koriyama City Museum of Art  
〒963-0666 福島県郡山市安原町字大谷地130-2 TEL.024-956-2200



<http://www.city.koriyama.fukushima.jp/bijyutukan/>



Gaspard & Lisa  
10th anniversary

“みんないっしょ” © 2010 Hachette Livre / Gallimard Jeunesse



復興をめざして—みんなで楽しむ絵本の世界—  
リサとガスパールシリーズ日本語版刊行10周年記念

**リサとガスパール&ペネロペ展**  
Gaspard et Lisa | Penelope

2011年 7/16(土)～8/28(日)

郡山市立美術館  
Koriyama City Museum of Art

開館時間/午前9時30分から午後5時まで(入館は午後4時30分まで)  
休館日/毎週月曜日 7月18日(月・祝)は開館、翌日休館  
観覧料/一般500(400)円 高校・大学生300(240)円  
( )内は20名以上の団体料金  
中学生以下、65歳以上、障がい者手帳をお持ちの方は無料

主催/郡山市立美術館、読売新聞社、福島民友新聞社、  
福島中央テレビ、美術館連絡協議会  
協賛/ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン  
協カ/プロンズ新社、岩崎書店、白泉社<MOE>、  
ソニー・クリエイティブプロダクツ、日本アニメーション、ANA

企画制作/渋谷出版企画  
With the cooperation of Hachette Livre / Gallimard Jeunesse



1.「リサとガスパール いっしょにいっく」 Hachette Livre © 2009 Anne Gutman and Georg Hallensleben  
2.「ペネロペこわいゆめをやっつけろ」 Gallimard Jeunesse © 2007 Anne Gutman and Georg Hallensleben





ゲオルグ・ハレンスレーベン  
(Georg Hallensleben)

1958年ドイツ・ヴッパータール生まれ。幼いころから絵を描くことが好きで暇さえあればデッサンや水彩画を描いていた。19歳で初めての個展を開催し、1997年アメリカの作家ケイト・バンクスと組んだ絵本『おつきさまはきつと』がアメリカの児童書評誌「ホーンブック」の1998年最優秀絵本賞を受賞し注目される。1999年にフランスで「リサとガスパール」の第1作「リサ ひこうきにのる」を発表し人気シリーズに成長した。他に、青いコアラの「ペネロペ」シリーズも意欲的に発表している。

Georg Hallensleben

復興をめざして—みんなで楽しむ絵本の世界—

リサとガスパールシリーズ日本語版刊行10周年記念

# リサとガスパール & ペネロペ展

## Gaspard et Lisa | Pénélope

フランス生まれの絵本の主人公、リサとガスパール。ふたりが巻き起こす騒動を描いた絵本が、日本でデビューして今年で10年になります。

ゲオルグ・ハレンスレーベンとアン・グットマン夫妻による絵本「リサとガスパール」は、2000年に初めて日本で翻訳出版されて以来、20作品を超える大人気シリーズへと成長しました。明るく豊かな色使い、愛らしいキャラクターとほほえましいストーリーは、子どもから大人まで魅了しています。

また、夫妻が生み出した「ペネロペ」シリーズの青いコアラのペネロペは、毎日遊んだり、いたずらしたり、お手伝いに挑戦したりと、一生懸命に日常のひとつひとつに挑戦しようとします。そのほのぼのとした姿は絵本のみならずテレビのアニメーションでも紹介され、広く子どもたちに愛されています。

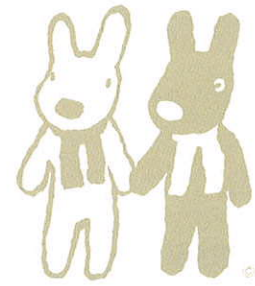
展覧会では、約200点の原画や資料に加え、VTRによる映画の紹介や作家たちのインタビューなども交えて、その魅力を余すところなくご紹介します。



「10周年おめでとう」  
© 2010 Anne Gutman and Georg Hallensleben/Hachette Livre

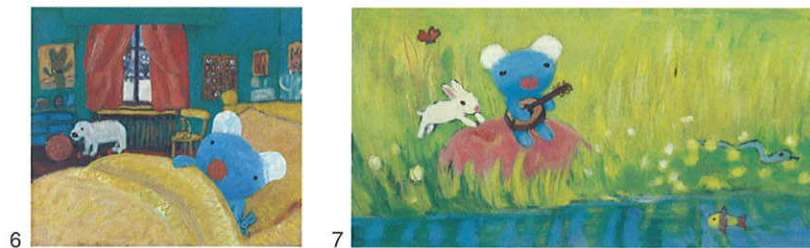
### ●リサとガスパールシリーズ

白い体に赤いマフラーがトレードマークのリサは、好奇心旺盛でおしゃまな女の子。青いマフラーをした、心優しくてちょっと甘えん坊の男の子ガスパール。犬でもウサギでもない不思議なふたりが繰り広げる、ほほえましい騒動を描いた物語。



### ●ペネロペシリーズ

3歳のコアラの女の子、ペネロペ。うっかり屋さんのペネロペが、毎日家や幼稚園を舞台に、いろいろな失敗や体験を繰り返しながら、成長する姿がいきいきと描かれています。



3.「リサ こねこをかう」 Hachette Livre © 2006 Anne Gutman and Georg Hallensleben  
4.「リサとガスパールのちいさなともだち」 Hachette Livre © 2008 Anne Gutman and Georg Hallensleben  
5.「リサとガスパールのクッキングブック」 Hachette Livre © 2009 Anne Gutman and Georg Hallensleben  
6.「メリークリスマス ペネロペ」 Gallimard Jeunesse © 2004 Anne Gutman and Georg Hallensleben  
7.「うたって、ペネロペ」 Gallimard Jeunesse © 2006 Anne Gutman and Georg Hallensleben



アン・グットマン  
(Anne Gutman)

1970年フランス・パリ生まれ。大学で美術史と建築を学ぶ。1988年父親で作家のクラウド・グットマンとともに絵本『どうやって弟を追っばらおう?』を出版し、フランスで高評価を得る。装幀の仕事を通じてハレンスレーベンと出会い、「リサとガスパール」シリーズ、「ペネロペ」シリーズでは、文だけでなく本づくりすべてに関わっている。公私ともにパートナーになったハレンスレーベンと三人の子どもたちとともにパリに住んでいる。

Anne Gutman

会期中  
イベント

#### 講演会

### 「絵本の楽しみ、ことばの楽しみ」

7月23日(土) 14:00~

会場/多目的スタジオ

講師/石津ちひろ氏(絵本作家・翻訳家)

#### 講師略歴

「リサとガスパール」全シリーズをはじめとする翻訳家であり絵本作家。愛媛県に生まれ、早稲田大学文学部仏文学科卒業。『なぞなぞのたび』(1998年、フレーベル館)でポロニーヤ児童図書展絵本賞、『あしたうちにねこがくるの』(2000年、講談社)で日本絵本賞、『あしたのあたしはあたらしいあたし』(2002年、理論社)で三越左千夫少年詩賞を受賞。



参加  
無料

#### ペネロペ撮影会

### 「ペネロペがやってくる!」

7月16日(土)・8月13日(土)

各日11:00~、14:00~

会場/エントランス・ホール

ペネロペといっしょに写真を撮ろう!

各回30組限定。各回30分前から整理券を受付で配布します。

●カメラはお客様ご自身でご用意ください。撮影は各組1カットのみとさせていただきます。

Penelope by Anne Gutman and Georg Hallensleben  
© Gallimard Jeunesse  
Licensed by Nippon Animation Co., Ltd.



参加  
無料

#### 美術講座

### 「西洋美術史に見るリサとガスパール」

8月20日(土) 14:00~

会場/講義室 講師/当館学芸員

単純そうでも不思議な奥行きを感じさせる「リサとガスパール」やペネロペの絵。実は、そこには秘密があるのです。それは…。

参加  
無料

#### ギャラリートーク

7月17日(日)・24日(日)

各日14:00~

会場/企画展示室 講師/当館学芸員

要観覧券